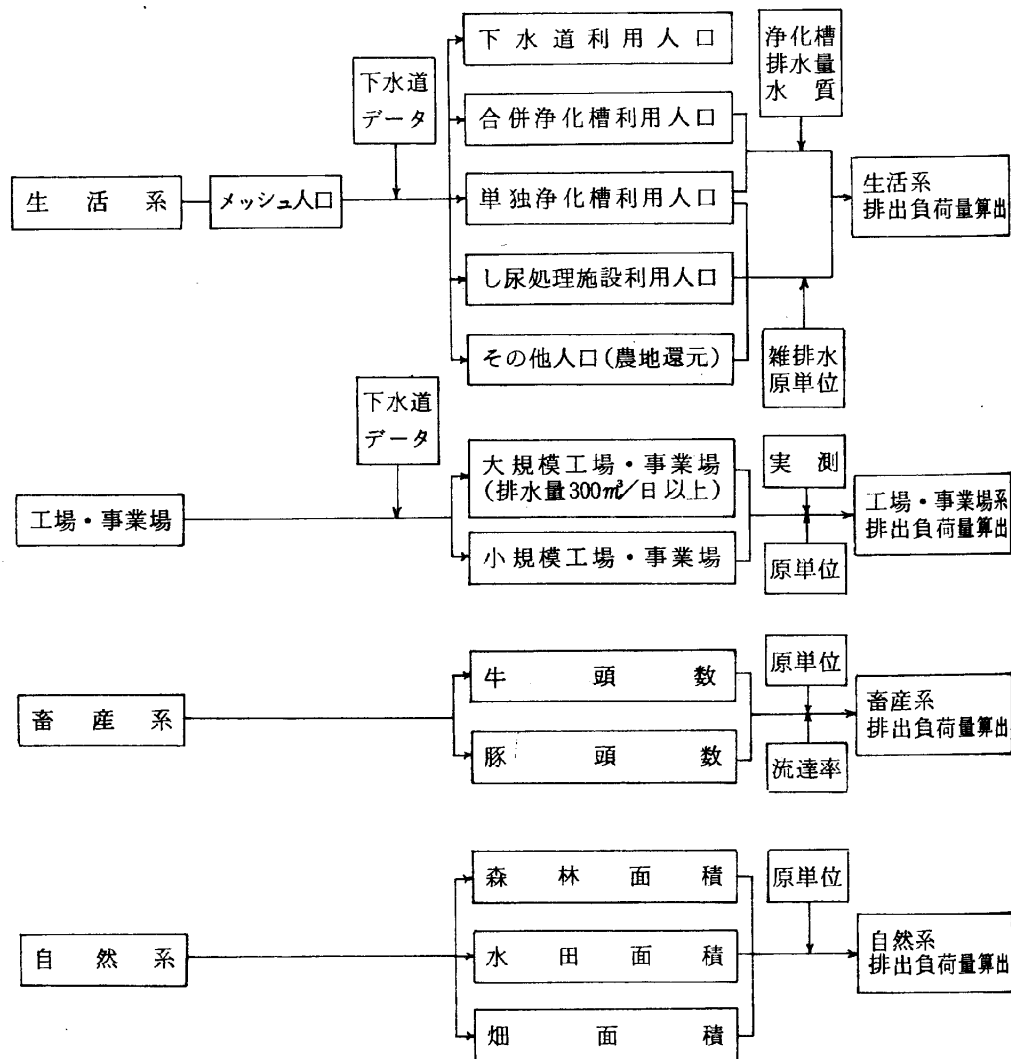


図-11 汚濁負荷量算出モデル構成



注1. 生活系は、人口メッシュデータを、流域ブロックと対応させ、浄化槽等処理形態別の汚濁負荷量として算出した。

2. 工場・事業場系は、(排水量) × (水質) = (排出負荷量) として算出した。

3. 畜産系は、(牛・豚頭数) × (原単位) × (流達率) = (排出負荷量) として算出した。

4. 自然系は、(森林・水田・畑地面積) × (原単位) = (排出負荷量) として算出した。

表-

大区分	小	区
生活系	雑	排
	し尿浄化槽 (10	
	し尿浄化槽 (10	
畜産系		牛
		豚
自然系	森	
	水	
		畑

表-

大区分	小	区
畜産系		牛
		豚
自然系	森	
	水	
		畑

表-

大区分	小	区
生活系	雑	排
	合併浄	
	し尿浄	
畜産系		牛
		豚

注1. ※(1)は、「七北田川

2. ※(2)は、「建築基準

3. ※(3)は、「流域別下

4. ※(4)は、「土木学会

5. ※(5)は、市街地を、

するものとした。

6. ※(6)は、※(5)と同様